



SSH 中間報告会（2年生）

11月17日（金）に2年生の「SSH中間報告会」を実施しました。94の班による多種多様な研究内容について、それぞれの進捗状況がわかる発表と、それに対する意見交換や指導助言が行われる場となりました。



本校SSHのコンセプトでもある「21世紀型郷中教育」を実践する場の一つとして、この中間報告会には他学年も参加しています。3年生は、これまでの自分たちの研究を踏まえ、最終発表会までの道筋となるような改善点の指摘やアドバイスを行っていました。一方、1年生はテーマ設定のヒントを得たり、どのような流れで研究すればよいのか学んだりしていました。2年生の研究を引き継ぎたいと思った生徒もいたようです。



今年度は、保護者やSSH運営指導員などの学校関係者だけでなく、他校の生徒や先生にも観覧していただきました。本校関係者以外の方々にも聴いてもらえる貴重な場として各班は練習を重ね、満足いく発表ができた班も多かったようです。また、発表時間以外は他の発表を聞きに行き、熱心な質疑応答を交わす姿も多く見られました。また、観覧した生徒には発表に対して、「Goodシール」と「Questionシール」にコメントを記入してもらいました。この意見を、2年生は振り返りで活用しています。

これらのシールには、

- グラフや図がとても見やすかった
- 実験対象が多いのでデータが信頼できそう
- OOについてとても細かく調べていた
- 実験結果で、4つは数値が上がったのになぜ1つだけ数値が下がったのか

など様々なコメントが寄せられていました。



今回の発表で気づいたこと、教えていただいたことを今後に生かし、最終報告会では先輩方に負けない、素晴らしい発表ができるよう、更なる探究活動に勤しんでほしいと思います。

科学部 九州大会へ

11月2日に鹿児島県高等学校生徒理科研究発表大会が宝山ホールで行われ、県内から物理・化学・生物・地学の4つの分野、47の研究班が日頃の研究成果を披露しました。本校科学部は「微生物電池の改良を目指して～広がる微生物の力2～」という研究テーマを先輩から引き継いで参加し、化学部門で県第2位という好成績を収めました。これにより、12月23日・24日に熊本県の崇城大学で行われる九州高等学校生徒理科研究発表大会へ出場することが決定しました。

みなさんが行っている研究の成果は、九州大会、全国大会へ繋がります。面白い、楽しいと思ったことを徹底的に探究していく姿勢を身に付けましょう。

